

# 情報処理 I 講義メモ (第 1 回)

2004 年前期

## 今日の予定

- 授業の内容と目的
  - コンピュータリテラシー: あらゆる情報処理の過程 (情報の収集、整理・分析、記録、表現、伝達、...) でコンピュータを道具として活用すること。
  - コンピュータを使わない方が良い場合もある。
    - 高度な機能は覚えなくて良い。
    - 自分でマニュアルを調べて解決できる能力が重要。基本的な使い方は簡単であることの体験。
    - 新しいシステム (ソフトウェアを含む) に対して柔軟に対応できる能力が重要。
    - コンピュータの予備知識は不要— 全く始めてでも心配いらない。
- 成績評価方法について (目安) — 出席点 (30)、ミニレポート他 (15)、ホームページ作成 (15)、最終レポート (15)、期末試験 (15) 等によって総合的に判断する。
- 教科書 なし
- 計算機利用上の注意 (「利用の手引」の最後参照)
- 授業の進め方 — 半分講義、半分演習。
- マウス操作とキーボード操作
  - ログイン画面上でマウス操作 (クリック、ダブルクリック、ドラッグ)。キーボードからの入力。
- ログイン名とパスワードの意味
  - 計算機の利用者を明らかにすること。インターネットに繋がっている組織としての責任であり、また、個人としての発言および行動の責任を明らかにする必要がある。
  - ログイン名は学籍番号、ただし、全部 英小文字 (例: a03ta999)。パスワードの重要性。
- ログインとログアウトの実際 — 実際にログイン、ログアウトしてみる
  - 注意: 初めてログインした人には「利用上の注意」が表示される。良く読んで、「了解」ボタンを押すこと。
- アプリケーションプログラムの起動 (1) — パネルからの起動 —
  - Web ブラウザ Mozilla の起動 (画面下パネル内の赤いゴジラのアイコン— 左から 5 番目) を (シングル) クリック)
  - 情報処理教育システムのトップページ (<http://www.ex.media.osaka-cu.ac.jp/>) が表示される。
- タイプ練習の方法 (プリント参照)
  - 高機能エディタ (KWrite: 文章を入力・編集するためのアプリケーションプログラム) の起動 (画面下パネル内のペンと紙の絵のアイコンをクリック)。文字の入力、文字を消す (Backspace) ... (詳細は次週)。
  - 高機能エディタ画面でタイプ練習をする。終了時にファイルを保存。
  - タイプ練習用のアプリケーションプログラム (「情報処理教育システム」 「KTouch」) もある。
- 学術情報総合センターの情報処理教育実験室 (5 階) での自習利用 (9:00 ~ 20:50)
  - 同じ計算機がメディア室 (5 階, 21:50 まで利用可) にもある。(メディア室での利用はメディアカウンタで予約が必要)

## 宿題

- タイプ練習をしておくこと。
- 適切なパスワードを考えてくる (「利用の手引」参照)。
  - 本システムでのパスワードとしては以下の条件を満たす必要がある。
  - (1) 6 文字以上 8 文字以下、(2) 英字 2 文字以上含む、(3) 数字または特殊文字 (#, \$, など) を 1 文字以上含む